



50000-XKJ -KOSO LEGEND SPORTS SUSPENSION

取 付 ・ 取 扱 説 明 書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
このキットは、ホンダ レジェンド (DBA-KB1) 専用に設計したものです。
安全にドライビングを楽しんでいただくために、以下の注意点を正しくご理解の上、
ご使用くださいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡しください。

ご注意

1. 本サスペンションキットの装着は、ホンダクリオ店での装着をお奨め致します。

**サスペンションの取り外しに際して、ブレーキ関係の部品を外す場合、分解整備の対象となるため、
認証工場における交換作業が必要です。**

**本書の作業内容は、自動車整備士及び整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。
経験のない方のみでの組み付け作業は、ケガや事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。**

2. 本製品の装着により、車高が下がりますので（約15mm）、縁石、駐車場の車両止め、段差や凹凸路面の通過時は、接地しないよう十分ご注意ください。
3. 本製品は、ホンダ レジェンド (DBA-KB1) への装着を目的として、保安基準に適合する仕様で開発された商品です。適合車種に正しく装着された場合は、改造申請は不要ですので、装着したまま車検を受けられます。

4. AFS（アダプティブ フロントライティング システム）について

レジェンド (DBA-KB1) には走行状態によってヘッドライトの光軸を最適化するAFSが標準装着されています。本製品組み込みの為、ダンパとヘッドライトアジャスタ レベリング センサの接続を外す為、製品取り付け後専用機材のあるホンダクリオ店でAFSコントロールユニットの学習を行ってください。

5. ナイトビジョンシステム・HiDS装着車について

本製品組み込みによって車高が下がるため、ホイールアーチ高を測定の上、必要がある場合は専用機材のあるホンダクリオ店で再エイミング（カメラ基準位置調整）を行ってください。

※詳細は巻末12・13ページを参照。

6. 本製品の加工や分解、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
7. 経年変化等により、サスペンションの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、新品に交換する等してください。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック【営業時間 9:00～18:00】

Tel. 048-462-3135 Fax. 048-462-3121

【仕様表】

※車高は約15mm下がります。車輛の装備、仕様により若干変わることがあります。

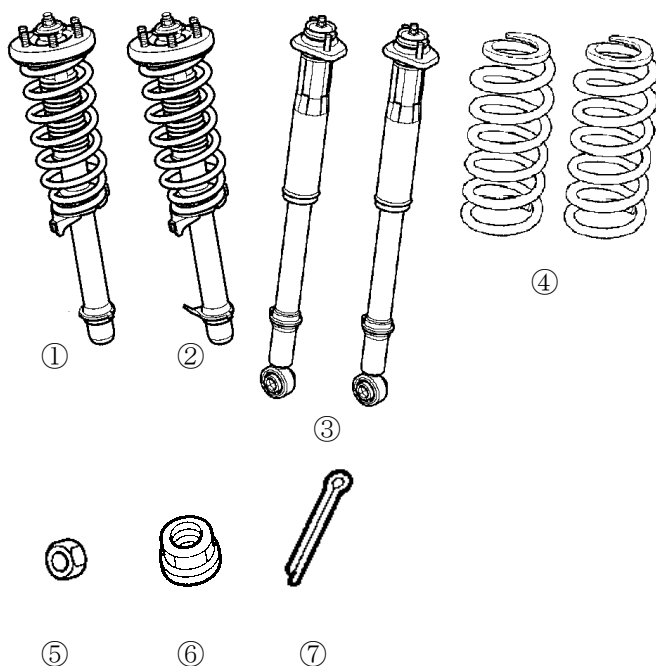
	減衰力（スタンダード比） 0.3m/s 時； 伸び側／圧縮側	スプリングレート N/mm	適合車種 [型式]
フロント	117% / 104%	K=68.8 (K=63.7)	ホンダ レジェンド [DBA-KB1]
リヤ	119% / 110%	K=88.2 (K=76.0)	

↑ () 内はスタンダード

【部品表】

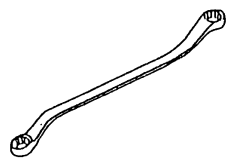
キット品番

50000-XKJ-K0S0



No.	構成部品名	QTY
①	51601-XKJ-00S0 R. フロント ダンパ ASSY.	1
②	51602-XKJ-00S0 L. フロント ダンパ ASSY.	1
③	52610-XKJ-00S0 リヤ ダンパ ASSY.	2
④	52441-XKJ-0000 リヤ スプリング	2
⑤	6mmナット	2
⑥	セルフロック ナット	2
⑦	割りピン	2

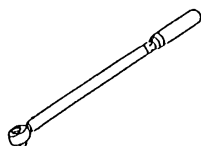
【必要工具】



メガネレンチ
10, 14, 17, 19, 22mm



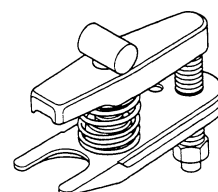
ソケットレンチ
10, 14, 17, 19, 22mm



トルクレンチ



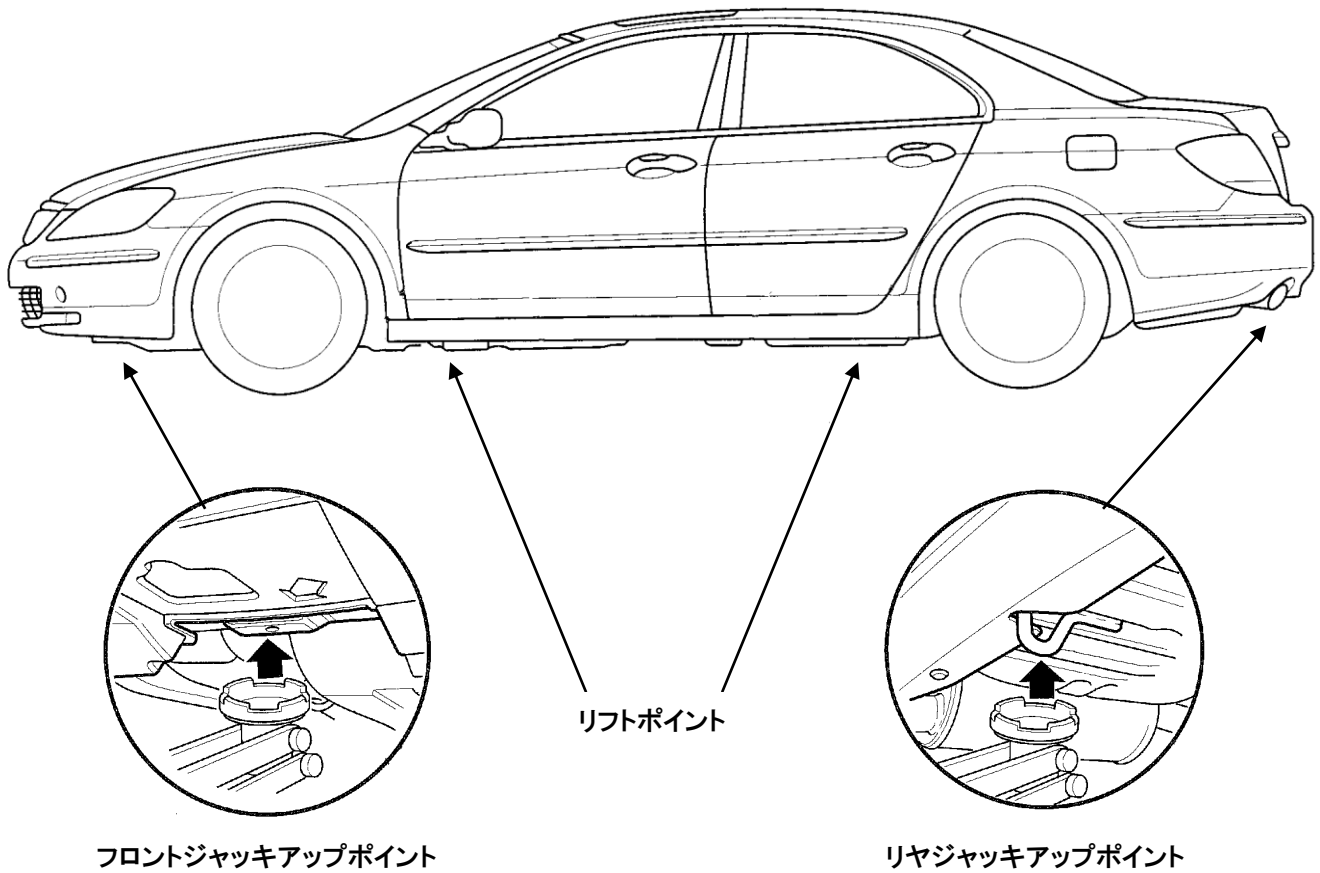
六角レンチ
5mm



専用工具
ボールジョイントリムーバ

取付準備

- ①各車輪のホイールナットを緩める。
- ②リフトアップまたはジャッキアップし、サイドシル補強部にリジットラックをあてがう。
- ③リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



ご注意

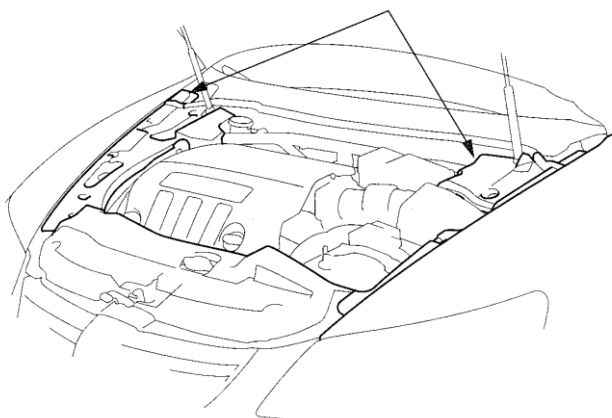
- ・ 指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ ボディに傷をつけないように注意すること。
- ・ リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し、安全に注意して作業を行うこと。
- ・ ジャッキアップ後は、必ずリジットラックを使用すること。
- ・ 短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対にしないこと。
- ・ ジャッキアップしたままで、車輦の下には入らないこと。
- ・ フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ずかけること。

I. フロントダンパの車両への組み込み

STD.フロントダンパの取り外し

- ①フェンダ ガーニッシュを取り外す。

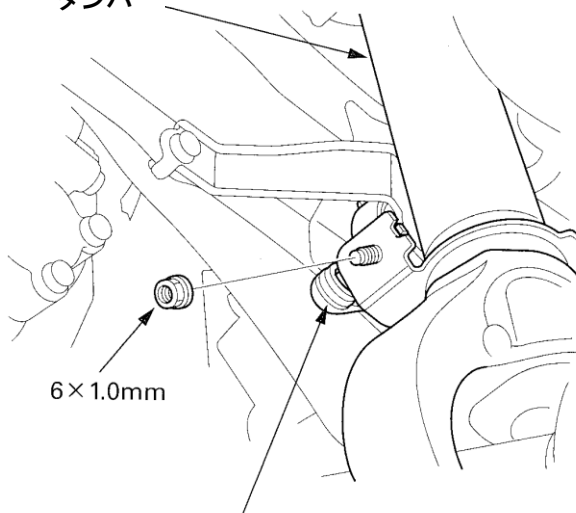
フェンダ ガーニッシュ



- ②フロント ホイールを取り外す。

- ③ダンパからヘッドライト アジャスタ レベリングセンサのコネクティング ロッドの接続を外す。

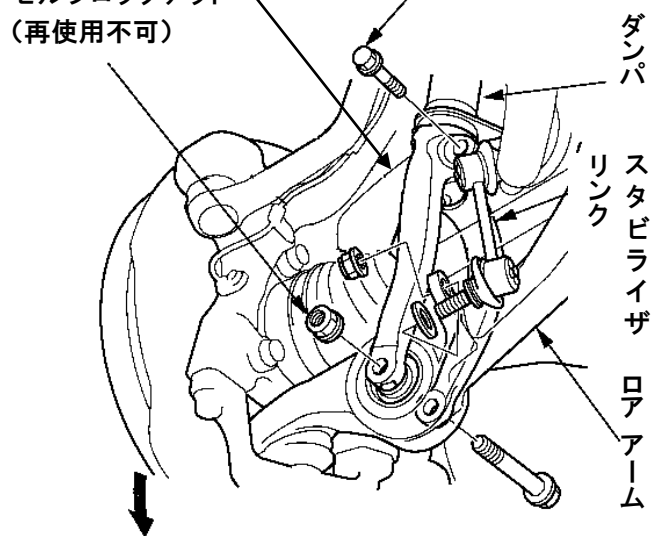
ダンパ



コネクティング ロッド

- ④スタビライザ リンクとロア アームの接続を外し、ダンパ フォークをフロント ダンパとロア アームとの接続から外し、ロア アームを押し下げてダンパ フォークを取り外す。

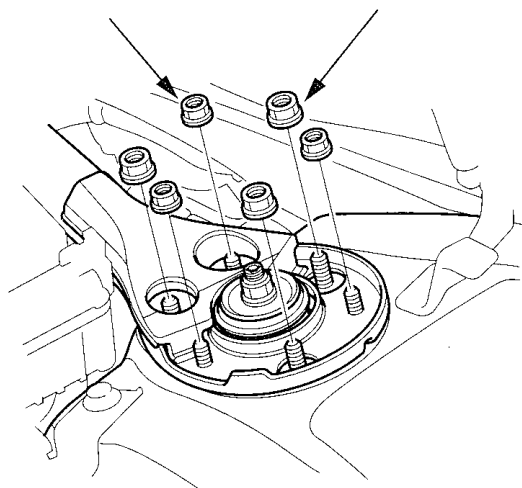
ダンパ フォーク 10×1.25mm
セルフロックナット
(再使用不可)



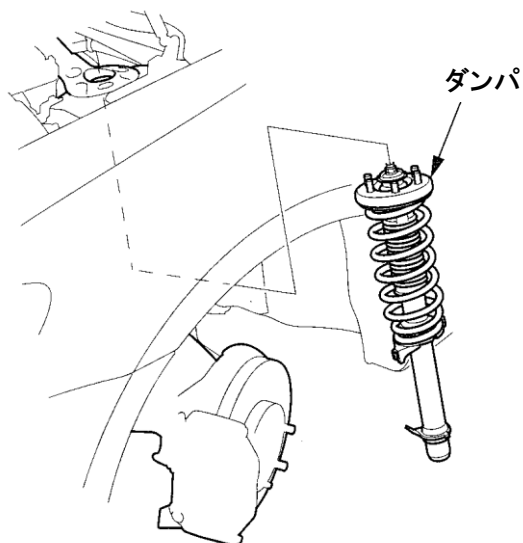
- ⑤ダンパ上部から 8mm と 10mm の取付けナットを取り外す。

8×1.25mm

10×1.25mm



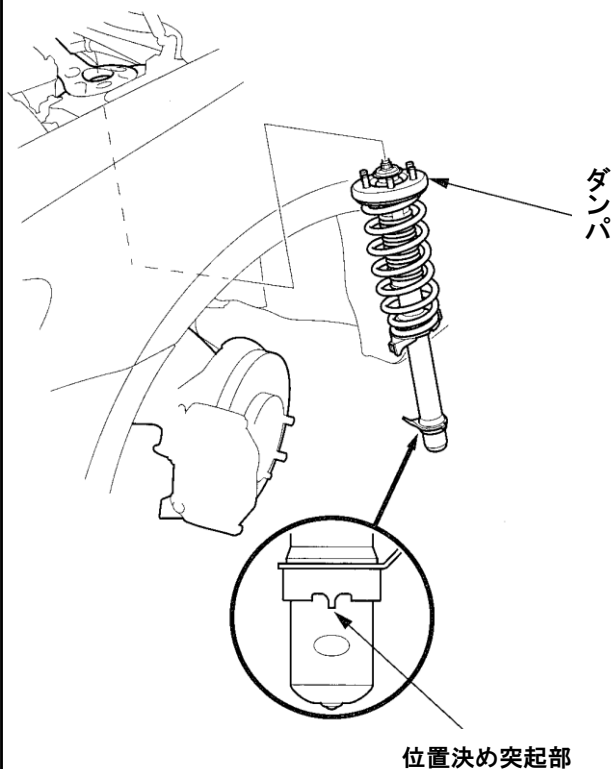
- ⑥車体からダンパを取外す。



MUGENフロントダンパの取り付け

※ダンパ アッセムブリの左右を確認してから取り付けを始めること

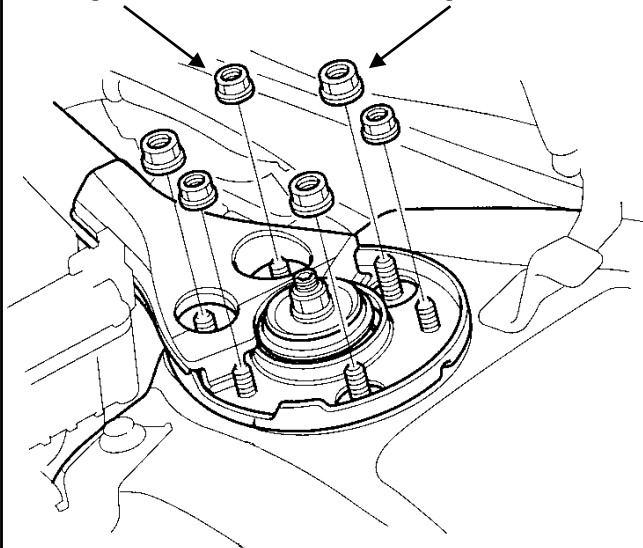
①ダンパの位置決め突起部を車体内側に向け、車体に仮付けする。



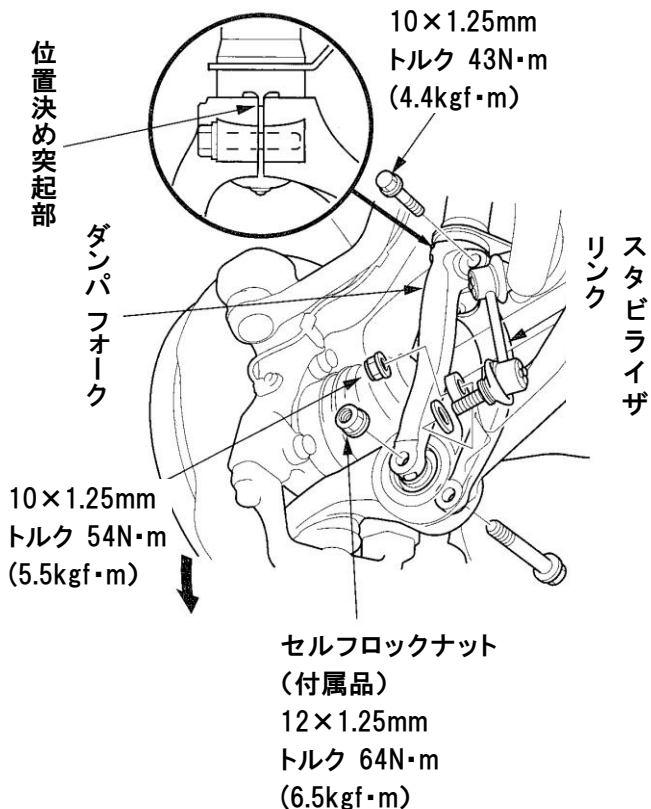
②ダンパ上部の取り付けナットを仮締めする。

8×1.25mm
トルク 34N・m
(3.5kgf・m)

10×1.25mm
トルク 55N・m
(5.6kgf・m)



③ダンパ フォークをドライブシャフトの上に通し、ダンパ下端の位置決め突起部にフォークの溝を合わせて差し込む。



④ダンパ フォークとダンパ下部の取り付けボルトを仮締めする。

⑤ダンパ フォークとロア アームを接続し、付属のセルフロックナットを仮締めする。

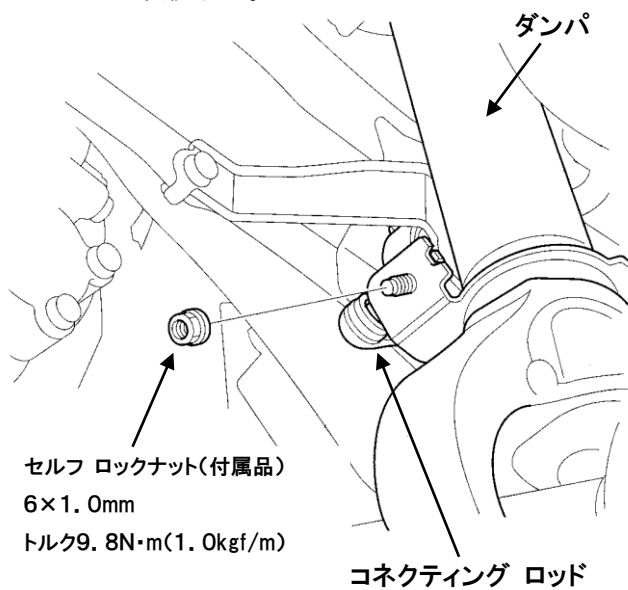
⑥ジャッキでフロントサスペンションを持ち上げ、車重をかけた状態でダンパ上部のナットおよびダンパ下部とダンパフォークの接続ボルト、ダンパ フォーク下部のナットを規定のトルクで締付ける。

※ロア アームのボール ジョイント ピン先端にジャッキをかけないこと。

※ロア アームのボールジョイント部に衝撃を与えないよう慎重にジャッキアップすること。

⑦スタビライザ リンクとロア アームを規定トルクにて接続する。

- ⑧フロント ダンパとヘッドライトアジャスタ
レベリング センサのロッドを付属のナットを
用いて接続する。



- ⑨ホイールとブレーキ ディスクの合わせ面をそれぞ
れ清掃し、フロントホイールを取り付ける。

ホイール ナット トルク 127N・m[13.0kgf・m]

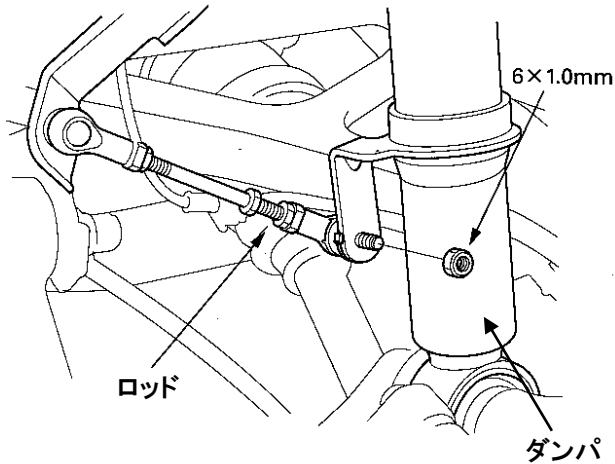
- ⑩ホイールアライメントの測定、点検を行い、
必要ならば調整する。(基準値は12ページ
を参照)

II. リヤ ダンパ スプリングの車両への組み込み

STD.リヤ ダンパ、スプリングの取り外し

①リヤホイールを取り外す。

②ダンパとヘッドライト アジャスタ レベリング センサのロッドの接続を外す。

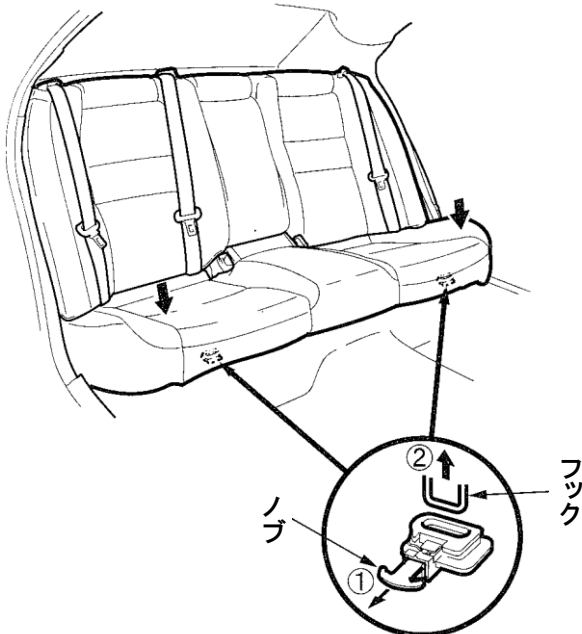


③ロア アーム下部にウエスなどを介してジャッキを当て、サスペンション支える。

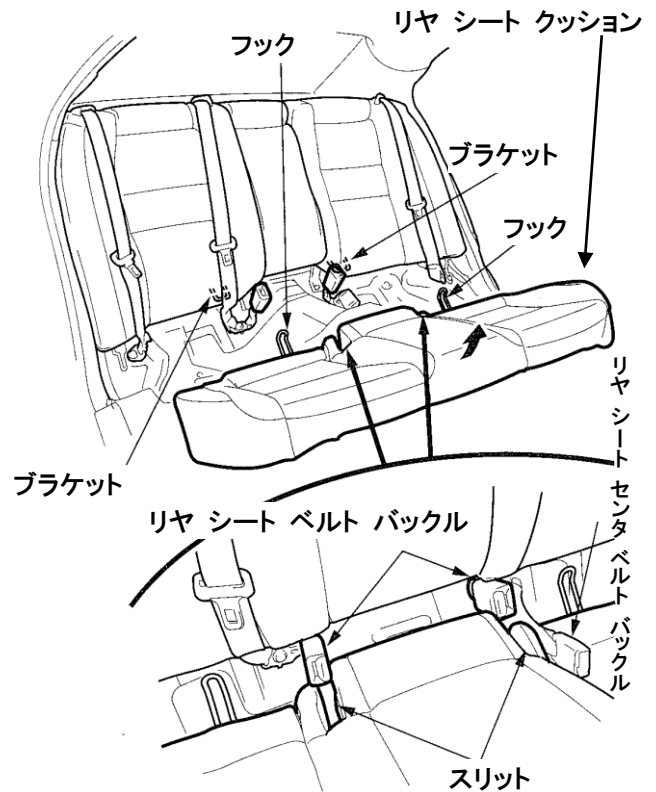
④リヤ シート クッション前端部両側を押し付けながらクリップのノブを引き、リヤ シート クッションを引き上げてフックを外す。

※インテリア部品およびボディに傷や汚れを付けないように保護シートなどを使用すること。

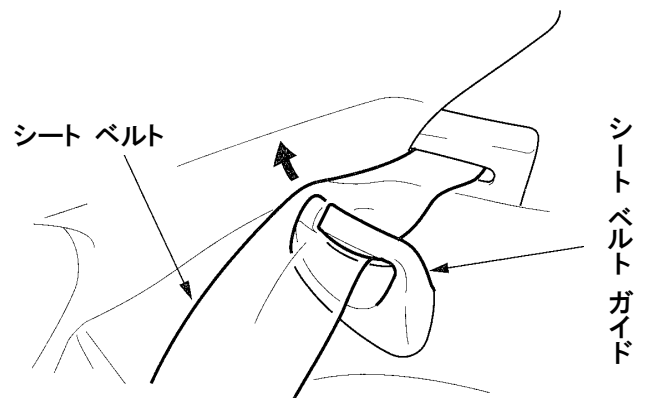
※作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。



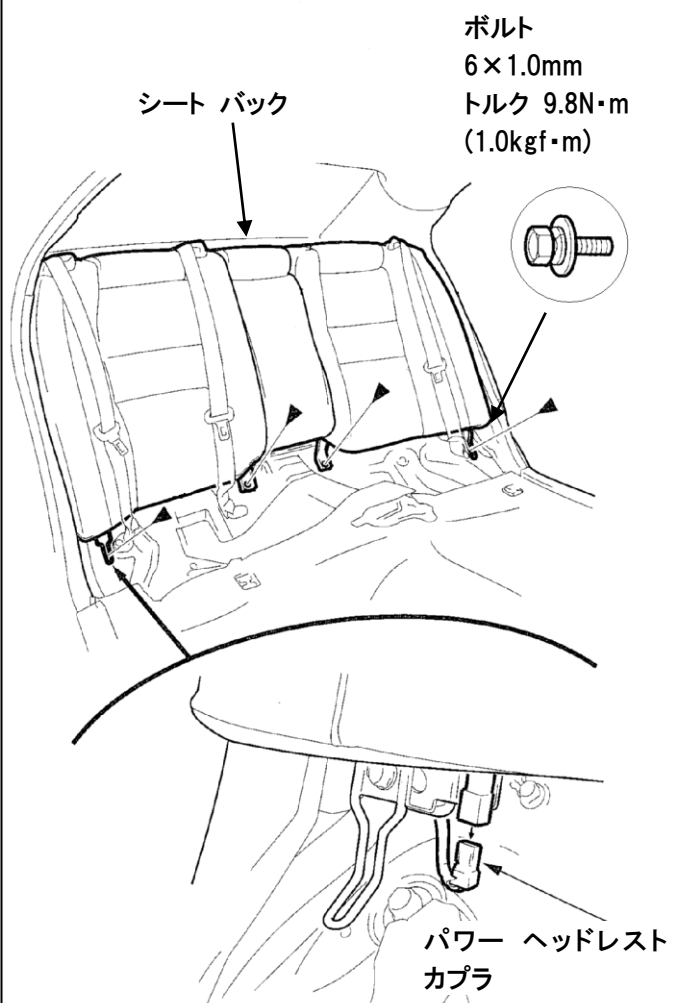
⑤リヤ シート クッションの前側を引き上げ、リヤ シートベルト バックル、リヤ シート センタ ベルト バックルをクッションのスリットから外しながら引き出し、後側のフックをボディのブラケットから外す。



⑥シート ベルト ガイドから両側リヤ シート ベルト、センタ ベルトを外す。

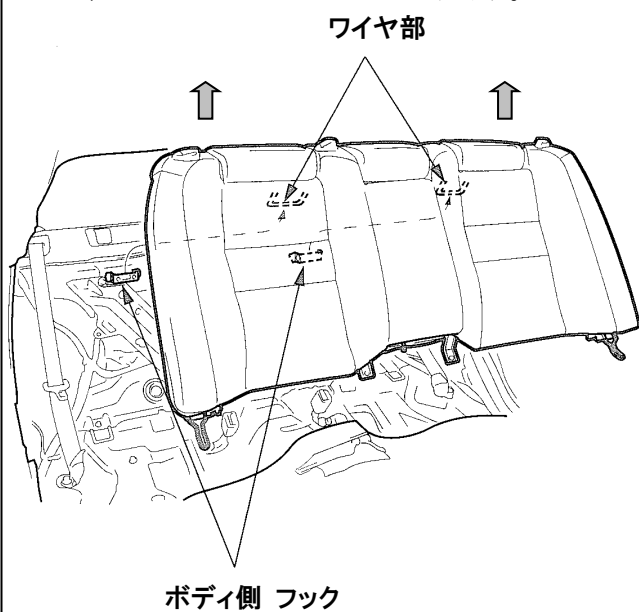


⑦シート バックからボルト(▼部)を外す。

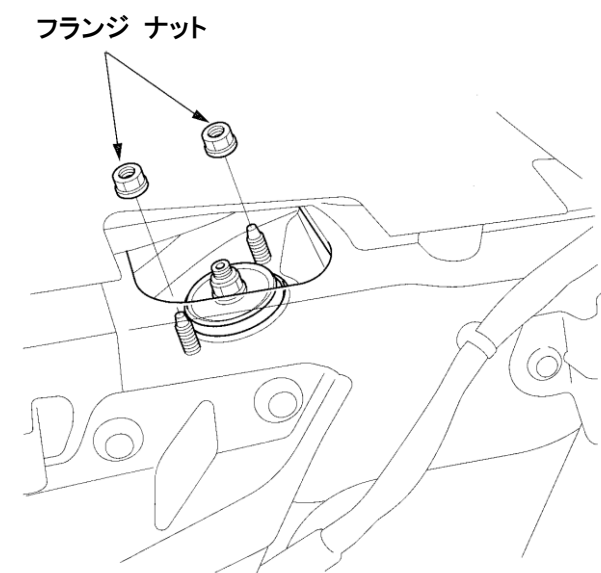


⑧パワー ヘッドレスト カプラの接続を外す。

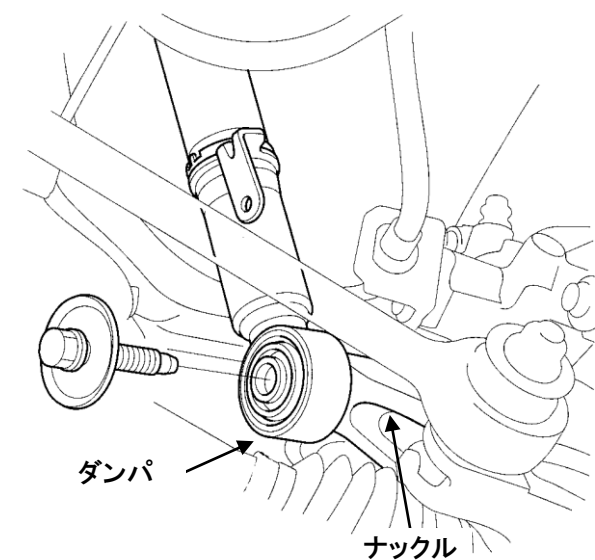
⑨シート バック全体を引き上げ、シート バックフレームのワイヤ部をボディ側フックから外し、シート ベルトをかわして取外す。



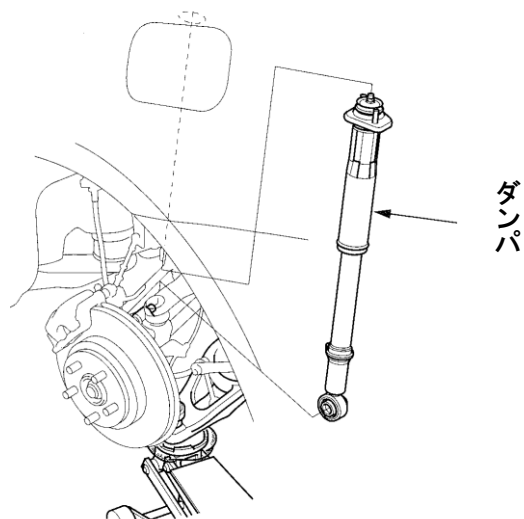
⑩ダンパ上部のフランジ ナットを取外す。



⑪ジャッキをゆっくり下げ、ダンパ下部とナックルの接続を外す。

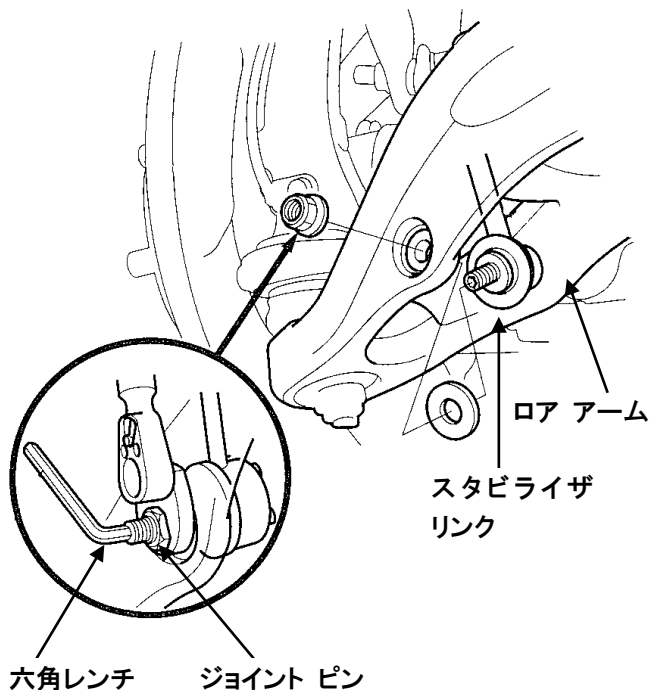


⑫ダンパを取外す。

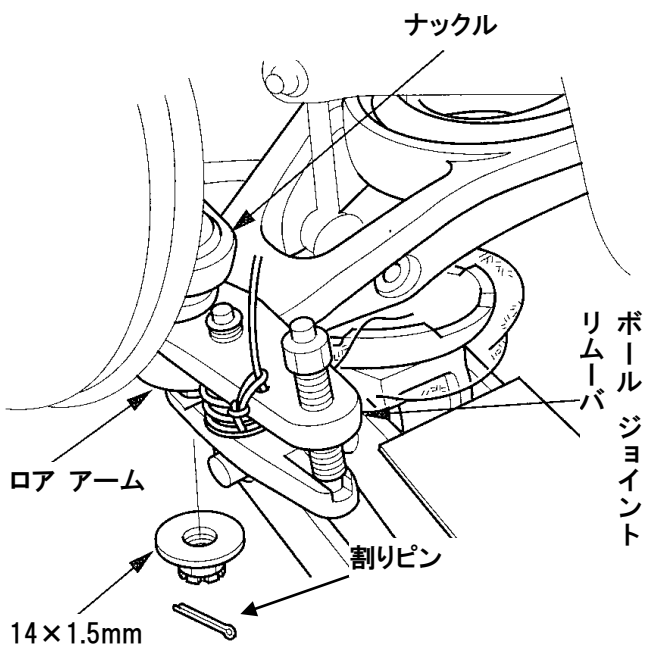


⑬再び、ロア アーム下部にウエスなどを介してジャッキを当て、サスペンションを支える。

⑭六角レンチでジョイント ピンを保持してフランジ ナットを外し、スタビライザ リンクとロア アームの接続を外す。

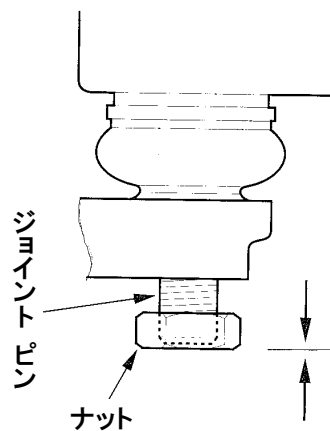


⑮ナックルのボール ジョイント接続部から割りピンを外し、溝つきナットを取外す。

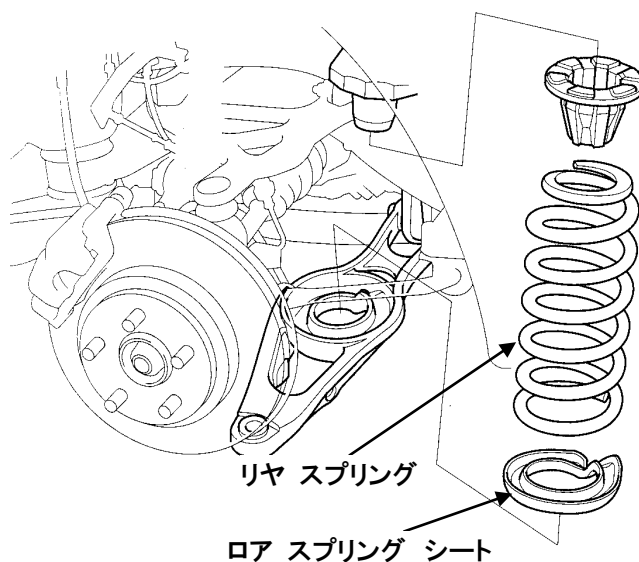


⑯適当なナット (14×1.5) をジョイント ピンに付け、ナット端面とピン端部を同一面にして専用工具 (ボール ジョイント リムーバー) でボール ジョイントの接続を外す。

※溝つきナットを使用してボール ジョイント リムーバをかけないこと。

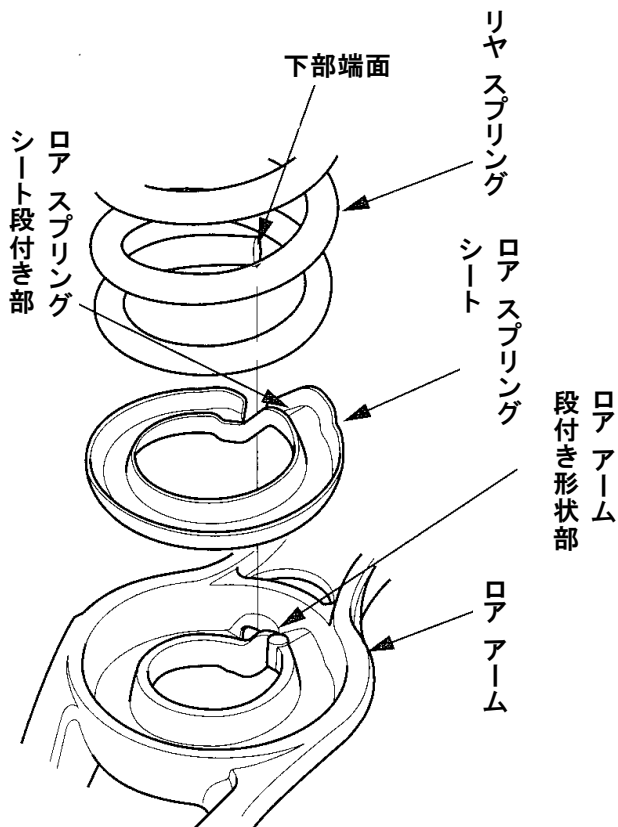


⑰ジャッキをゆっくり下げ、リヤ スプリング、ロア スプリング シートを取外す。



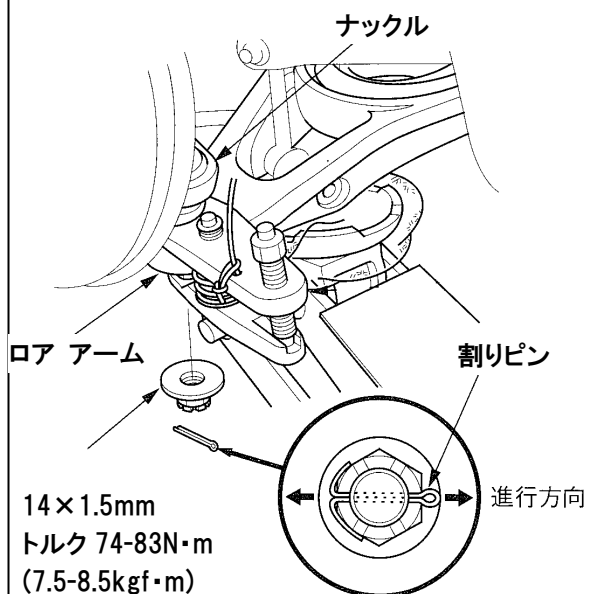
MUGENリヤ ダンパ スプリングの取付け

- ① ロア スプリング シートをロア アームの段つき形状に合わせて取付け、リヤ スプリングの下部端面をロア スプリング シートの段付き部に合わせて、リヤ スプリングを取り付ける。

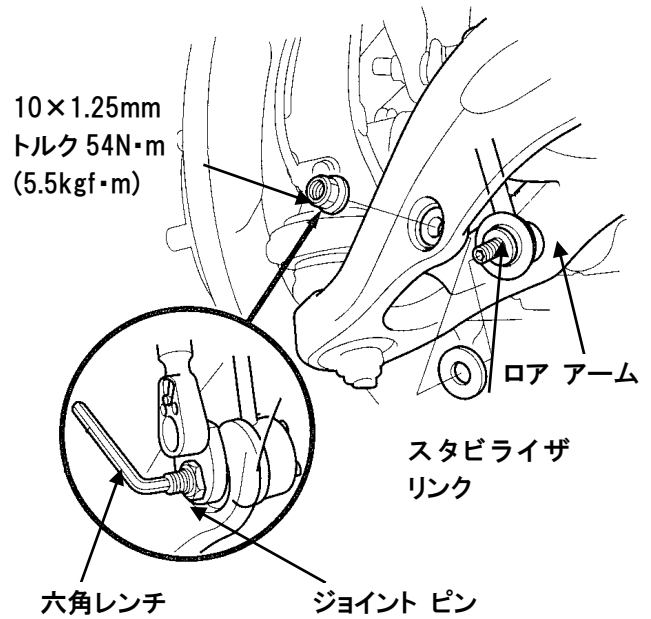


- ② ロア アームにジャッキを当ててボール ジョイント ピンの位置を調整しながら、ゆっくりロア アームをジャッキアップしナックルとロア アームを溝つきナットで仮締めする。

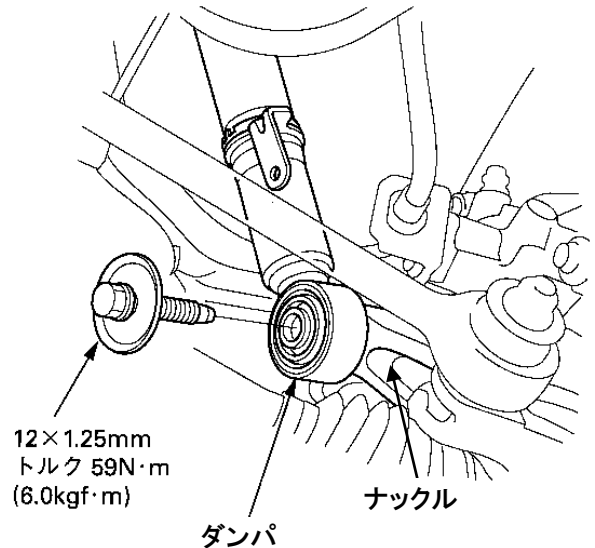
※規定トルクにて締め付け後、付属の割リピンを用いて車両の進行方向と平行になる向きで取付け、下図のように折り曲げる。



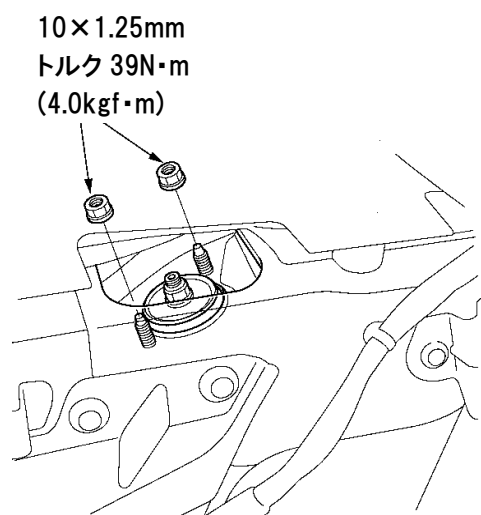
- ③ スタビライザ リンクのジョイント ピンを可動範囲の中央にして、フランジナットを用いてロア アームと仮締めする。



- ④ ダンパを縮めた状態で車体とナックルの間に置き、ダンパ下部とナックルの接続を仮締めする。



- ⑤ ダンパ上部のフランジ ナットを仮締めする。



⑥ジャッキでリヤ サスペンションを持ち上げて車重をかけ、取り付けボルトおよびナットを規定トルクで締め付ける。

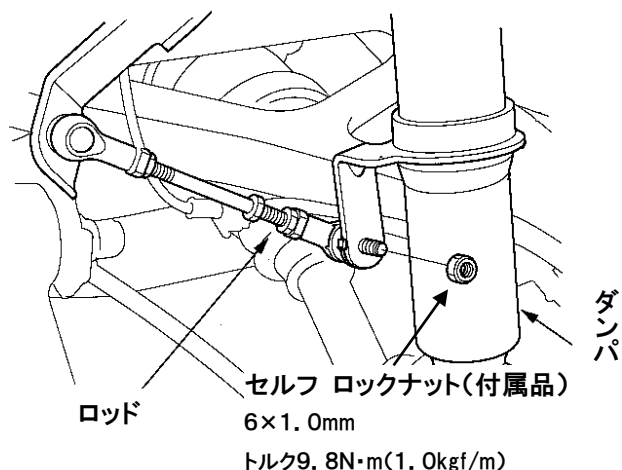
※ロア アームのボール ジョイント ピン先端にジャッキをかけないこと。

※ロア アームのボールジョイント部に衝撃を与えないよう慎重にジャッキアップすること。

⑦シート バック、リヤ シート クッションを取外した時と逆の手順で取り付ける。

※シート クッションを取り付ける際、シートバックルにねじれが無い事を確認しシート クッションのスリットに通すこと。

⑧ダンパとヘッドライト アジャスタ レベリング センサのロッドを付属のナットを用いて接続する。



⑨ホイールとブレーキ ディスクの合わせ面をそれぞれ清掃し、リヤホイールを取り付ける。

ホイール ナット トルク 127N・m[13.0kgf・m]

⑩ホイールアライメントの測定、点検を行い必要ならば調整する。(基準値については12ページを参照)

※無限ダンパ組み込み後は車高が下がるので、ジャッキ、またはリフトから車輛をおろす際には十分注意すること。

⑪AFSコントロールユニットの学習を行う。

※LEGENDサービスマニュアル シャシ整備編(下巻)15-397項を参照のこと。

参考 アライメント基準値

	キャンバー (°)	キャスター (°)	トータルトー (mm)
前輪	-0° 05' ± 30'	2° 00' ± 30'	イン0 ± 2
後輪	-1° 05' ± 30'		イン2 ± 2

! ご注意

- ・取り付け直後は急激な運転操作を避けて慣らし運転し、異音やガタつきがないことを確認してください。
- ・定期的にボルト、ナット類の緩み、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認してください。
- ・経年変化等によりサスペンションキットの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、新品に交換する等してください。
- ・本製品は純正品に比べ減衰力を高めに設定しているため、走行中にダンパの作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

※インテリジェントナイトビジョンシステム装着車について

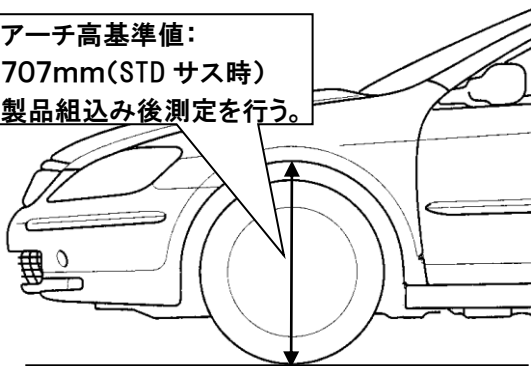
本製品を装着する事によって車高が下がるため、車を前後させる等サスを馴染ませて車高が落ち着いた後、以下の計測条件でフロントアーチ高の測定を行い、再エイミング（カメラ基準位置調整）を行ってください。

<アーチ高測定条件>

1. タイヤ空気圧を規定値にする。（前輪：220kPa、後輪：210kPa）
2. 車両をフラットな床に設置する。
3. トランク内の荷物を降ろし、空車状態にする。
4. 乗車しない。
5. ドアを閉める。
6. ステアリング ホイールは直進位置にする。

以上の条件でフロントアーチ高（地上～ホイールアーチ頂点間の距離）を左右で測定し、左右測定値からの平均値をアーチ高とする。

アーチ高基準値：
707mm(STD サス時)
製品組み込み後測定を行う。



左右のアーチ高を測定し、平均値が702mm以上712mm未満の範囲より外れている場合は再エイミングを行う。再エイミングの詳しい手順についてはレジェンド サービスマニュアル 構造・整備編（2004-12）18-52項～に従って行う事。

※ 再エイミングの際、アーチ高平均値が該当する設定値番号(HDSのカメラ高さ設定値)を以下の表から選択する事。

設定値番号	組付け後平均アーチ高 [mm]
③	702 以上～712 未満
④	692 以上～702 未満
⑤	682 以上～692 未満

※なお、再エイミングはシステム全機能を保証するものではありません、予めご了承下さい。



ご注意

※HiDS装着車について

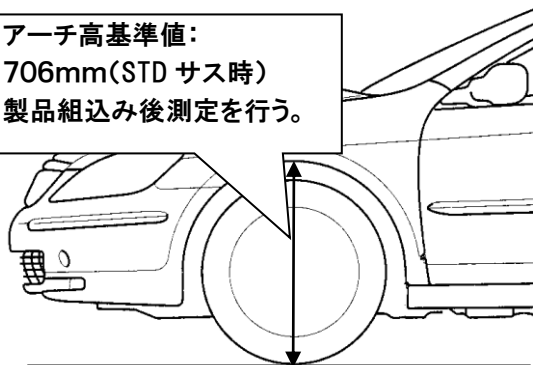
本製品を装着する事によって車高が下がるため、ナイトビジョンシステム装着車と同様に車を前後させる等サスを馴染ませて車高が落ち着いた後、以下の計測条件でフロントアーチ高の測定を行い、再エイミング（LKASカメラ基準位置調整）を行ってください。

＜アーチ高測定条件＞

1. タイヤ空気圧を規定値にする。（前輪：220kPa、後輪：210kPa）
2. 車両をフラットな床に設置する。
3. トランク内の荷物を降ろし、空車状態にする。
4. 乗車しない。
5. ドアを閉める。
6. ステアリング ホイールは直進位置にする。

以上の条件でフロントアーチ高（地上～ホイールアーチ頂点間の距離）を左右で測定し、左右測定値からの平均値をアーチ高とする。

アーチ高基準値：
706mm(STD サス時)
製品組み込み後測定を行う。



※無限コンプリートパッケージM1装着車はオーバーフェンダーの材厚分2mmを測定値に足して下さい。

左右のアーチ高を測定し、平均値が701mm以上711mm未満の範囲より外れている場合は再エイミングを行う。再エイミングの詳しい手順についてはレジェンド サービスマニュアル 構造・整備編（2005-03）18-75項～に従って行う事。

※再エイミングの際、アーチ高平均値が該当する設定値番号(HDSのカメラ高さ設定値)を以下の表から選択する事。

設定値番号	組付け後平均アーチ高[mm]
②	701 以上～711 未満
③	691 以上～701 未満
④	681 以上～691 未満
⑤	671 以上～691 未満

※なお、再エイミングはシステム全機能を保証するものではありません、予めご了承下さい。